

平成28年度

教育委員会の事務の点検・評価結果報告書

平成29年3月2日

三島村教育委員会

I 平成28年度教育委員会の事務の点検及び評価の概要について

1 根拠

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(地教行法)

「(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。」

2 目的

教育行政の運営の中において、施策や事業の、

「Plan(計画)」→「Do(実行)」→「Check(点検・評価)」→「Action(改善)」のマネジメントサイクルを確立するとともに、一連の情報を分かりやすい形で村民に公表することにより、次の事項の実現を図る。

- (1) 行政の説明責任の徹底
- (2) 効率的で質の高い行政の実現
- (3) 成果重視の行政の実現

3 対象施策・事業

4 施策・12事業

本村の教育行政推進上の重要課題として、1学校教育の充実、2社会教育の充実、3生涯学習の充実、4スポーツ活動の充実、5文化財の保存・活用、6その他の6つが挙げられる。これらの課題に係る主な施策・事業を対象とした。

4 点検・評価の日程

平成29年 2月上旬	・評価の実施
2月中旬	・評価委員への意見の照会
3月上旬	・教育委員への説明 ・教育委員会で議決 ・議会へ報告、評価結果の公表

※ 評価委員：教育に関し学識経験を有する者

(地教行法第27条第2項)

氏名	役職等	本村とのかかわり
瀬戸口 弘信	前県PTA連合会事務局長	元三島村教育長
原園 修二	鹿児島高校副校長	元三島中学校教諭

II 事務の点検・評価の内容及び結果について

1 点検・評価の対象とする施策及び事業について

学校教育において、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成は学校教育行政の推進上重要な課題であること、また地域一体型の本村ならではの学校存立を考えると、地域全体で子どもを守り育てる環境づくりは必須であること、さらには村民の心が一つになる機会や各地区にある文化財の保存・活用は本村の振興にとっても重要であることを踏まえ、次の4施策・12事業を点検・評価の対象とした。

1 学校教育の充実

◎ 学力向上に向けた教育の充実

【事業1】 中学校合同職場体験学習〈64万1千円〉

島内では体験できない事業所における体験学習により、中学校卒業後の島外での生活の適応を図る。

【施策1】 テレビ会議システムの利活用促進

県総合教育センターの「テレビ会議システム@ceネット(つらネット)」を活用し、地区研究協力校として公開授業を実施、村の学校間の情報共有を促進するとともに、校内研修の活性化を図り、村内各小中学校間の授業研究など教職員の授業力・指導力向上に資する。

◎ 「心の教育の充実」

【事業2】 学校図書館整備推進事業〈76万8千円〉

平成24年6月4日付け県教委からの「学校図書館関係の地方財政措置について(通知)」に基づき、平成28年度までの4か年で次の3項目について整備しようとするものである。

- (1) 学校図書館への新聞配備
- (2) 学校図書館担当職員(学校司書)の派遣
- (3) 平成28年度末までに学校図書館図書標準の達成

【事業3】 人権教育推進事業〈2万5千円〉

「三島村第3回いじめ根絶標語コンクール」を実施することにより、児童生徒の人権意識を高め、一層のいじめの未然防止、根絶を図る。また、入賞作品を村広報紙や各種プログラムに今回も記載することで、継続して村民の人権意識の啓発に努める。

◎ 地域に根ざした特色ある学校の実現

【事業4】 しおかぜ留学推進事業〈特定離島ふるさとおこし推進事業：1千209万7千円〉

本村内各小・中学校に入学または転入学を希望する児童生徒に対し、各校区内の受入保護者(里親)の協力を得て、受入を実施し、豊かな自然の中で相互の教育効果の向上を図るとともに、学校の活性化と教育の振興充実を図る。

【事業5】 「みしま学校応援団」推進事業

子どもたちの健やかな成長は村民共通の願いである。学校は地域に根ざし地域の人々と一体的に運営されているが、学校の教育活動を支援する大人やその機会を多くすることにより、各地区の教育力及び子どもを守り育てる環境のさらなる充実・向上を期する。地区を越えての学校支援活動も視野に入れる。

【事業6】 「みしまっ子探検隊」実施事業〈当初263万2千円〉

「むらづくりサミット 子ども大学」構想の一環として、児童生徒に三島村の手つかずの自然の中での屋外活動を通して学びの楽しさに触れさせると共に、村の新しい芸能であるジャンベの技術向上を図る。

(台風接近により中止)

2 社会教育の充実

◎青少年健全育成の推進

【事業7】 成人式・祝賀会の実施〈14万1千円〉

村の中学校を卒業した生徒を対象に成人式「新成人を励ます会」、祝賀会「村の新成人、はじめの一步!」を実施し成人を祝う。

【事業8】 PTA活動の推進

三島村PTA連絡協議会の会議を主導し、本村のPTA活動の更なる活性化を図る。

3 生涯学習の充実

◎学習活動の充実

【事業9】 放課後子ども教室推進事業〈県のかごしま地域推進事業：112万3千円〉

郷土に誇りを持ち心身共にたくましい子どもの育成のために、郷土に学び、育む青少年運動として、各校区に「地域塾」を設置し学習活動・野外活動・交流活動・創作活動を工夫実施するものである。

4 スポーツ活動の充実

◎児童の体力向上

【施策2】 「体力アップ!チャレンジかごしま」への参加(2/10時点 結果未発表)

仲間と楽しく集団で協力し合いながら運動に取り組むことにより、好ましい人間関係や社会性を育成し、体力向上を図るとともに、積極的に外遊びや運動に取り組む意欲・態度を育む。

◎スポーツ活動の振興

【事業10】 「第13回三島村民スポーツ・レクリエーション大会」の開催〈74万5千円〉

村民総参加のスポーツ、レクリエーションを通して、村民の連帯と強調のもとに健康で明るい生き生きとした人づくり、地域づくりに資する。

5 文化財の保護・活用

◎ 文化財等保護基盤の整備・充実

【施策3】 文化財の保護・管理〈202万7千円〉

村民の宝である各地区の文化財保護管理、天然記念物の保護管理を適切に実施する。

6 その他

◎ 三島の教育の充実

【事業11】 教育現場体験の実施〈13万6千円〉

大学との提携により三つの島を学外キャンパスとして位置づけ研修の場として活用することで児童・生徒・学校職員との交流を深めるとともに、三島村教育活動活性化のための方策の提言を期待する。また離島赴任が必須の本県教員を目指す学生に離島教育の重要性を理解させるとともに、三島村をはじめとする離島赴任の不安を取り除く。

【事業12】 鹿児島大学大学院教育学研究科との連携〈村負担無し〉

三島村教育委員会と鹿児島大学大学院教育学研究科との連携・協力に関する協議書を締結。

◎ 学校環境の充実

【施策4】 保健室・職員室のエアコン設置〈58万9千円〉

地球温暖化による気温上昇に対応するための施策を実施し、健全な学校生活の管理を行う。

2 評価指標の設定

前記4施策・12事業に共通する評価指標として、次のア～オの5点を設定した。

- ア 計画（企画・立案）に無理はなかったか（ないか）。
- イ 所期のねらいは達成することができたか（されつつあるか）。
- ウ 円滑（協力等）に実施することができたか（されつつあるか）。
- エ 学校・関係団体・住民等に受け入れられたか（ているか）。
- オ 次年度以降、継続実施する必要があるか。

3 評価基準

前記の評価指標ごとに次の基準で評点を付与することとした。

- 「4」＝そう思う。
- 「3」＝どちらかというと思う。
- 「2」＝どちらかというと思わない。
- 「1」＝そう思わない。

4 施策・事業別点検・評価結果

	施策・事業等名	事業等別・指標別の評点平均値 (4点中)					事業等別総評 点平均値 (20点中)	備考
		ア 計画の 妥当性	イ ねらい の達成 度合い	ウ 実施の 円滑性	エ 事業等 の受入 度合い	オ 継続の 必要性		
事業1	中学校合同 職場体験学習	3.6	3.8	3.7	3.7	3.9	18.7	
施策1	テレビ会議システムの 利活用促進	3.2	3.3	3.1	3.3	3.7	16.6	
事業2	学校図書館 整備推進事業	3.4	3.4	3.4	3.4	3.6	17.3	
事業3	人権教育推進事業	3.6	3.4	3.4	3.4	3.8	17.5	
事業4	しおかぜ留学推進事業	3.5	3.6	3.7	3.7	3.8	18.3	
事業5	「みしま学校応援団」 推進事業	3.3	3.1	3.2	3.1	3.6	16.3	
事業6	「みしまっ子探検隊」 実施事業							中止
事業7	成人式・祝賀会の実施	3.8	3.7	3.8	3.7	3.9	19.0	
事業8	PTA活動の推進	3.3	3.3	3.2	3.2	3.6	16.5	
事業9	放課後子ども教室 推進事業	3.4	3.3	3.3	3.4	3.8	17.2	
施策2	県の「体力アップ!チャレ ンจ์かごしま」への参加	3.7	3.6	3.6	3.6	3.8	18.2	
事業10	「第13回三島村民 スポーツ大会」の開催	3.7	3.7	3.6	3.6	3.8	18.5	
施策3	文化財の保護・管理	3.3	3.2	3.2	3.3	3.8	16.8	
事業11	教育現場体験の実施	3.6	3.7	3.6	3.6	3.8	18.3	
事業12	鹿児島大学大学院教育 学研究科との連携	3.4	3.4	3.3	3.3	3.6	17.0	
施策4	保健室・職員室の エアコン設置	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	19.0	

5 特記事項（本年度の反省や次年度へ向けた課題など、自由記述されたもの）

(1) 学校教育に関すること

- ア 職場体験や修学旅行の際に三島村出身者の高校生や大学生と交流してみてもどうか。
- イ テレビ会議システムを活用した中学生向けの授業を増やしてほしい。
- ウ しおかぜ留学推進事業について
- ・各地区の留学生やしおかぜ委員会の様子等の資料がいただけたら有り難い。
 - ・里親、実親、学校、地区をつなぐ専門相談窓口（担当者）を教育委員会等に設置する必要があるのではないか。
 - ・将来的に実親が子どもの様子を見に来ることが出来る環境や、実親と里親がコミュニケーションを図れる環境の整備が必要と思われる。
- エ しおかぜ留学生について、年度途中ではなく入学式に確定枠で進めた方が良いと思う。
- オ 教育現場体験の実施については、保護者への案内はもちろんですが、地域の方々への周知もあれば、学校からの声かけなども出来、よりよいと思います。
- カ TV会議システムについては、公開授業等への利用は有効であると思う。ただし、会議等で利用した際、全ての学校がスムーズに接続出来ず、不都合を感じた。
- キ 学校図書館司書の派遣については、滞在日数が確保できるようにお願いしたい。
- ク 職場体験学習など学校行事を計画する際、日程調整が難しいのが現状である。船便の関係もあり、日程等に無理が生じてしまう面もあるが、状況の中でよりよい方法を検討し対応していくしかない。職場体験学習においては、教育委員会に様々な配慮をいただき、たいへんありがたかった。
- ケ 子ども劇団の派遣など、演劇・文化活動に親しむ機会を広げたいが、予算がなく、学校単独で開催できない。村で、そのような事業を推進することはできないだろうか。
- コ 学校応援団については、地域の方々に協力していただいているが、地域では限度がある。島外からの派遣が可能な人材や支援内容の充実を図る手立てを構築して欲しい。
- サ 村役場に講師を招き、TV 会議システムを活用した教育講演会など実施できたらありがたい。島外研修は日程や予算の関係上、厳しい状況がある。
- シ 今年度、TV 会議システムの接続については不具合が生じた。教育センターとの連携を図り、操作マニュアル（図や写真入り）を作成・配布してもらえないか。（4小中学校共通のもの）
- ス 学校応援団については今後積極的な活用に向けて、見直しを図っていただきたい。
- セ 教育長を始め委員会の皆さんが、親密に優しく学校と村教委との連携を図ってくださったのがよかった。
- ソ 学校の事故や問題に対して村教委が常にフォロー・支援して下さるのがよかった。
- タ 留学生制度の目的（学級減や職員減防止）の共通理解が図れたのがよかった。
- チ 放課後教室が充実していた。特に、ジャンベ教室はよかった。
- テ 国際大学の離島実習ができてよかった。さらに人数や期間を拡大してほしい。
- ト 竹島→三島→黒島の普遍順位を改善してほしい。発表の順位とか、そういった何でも竹島からを廃止する。
- ナ 留学生が配置されなかったために学級減や職員減となることがあるので、しおかぜ留学生を配置する際はそういった事情も考慮いただけると助かる。
- ニ テレビ会議システムが活用されていない。スカイプやタブレット端末の活用を図る。

- ヌ 村のHPには、なるべくフレッシュな情報を掲載して欲しい。
- ネ フェリーみしまの運行が決まらないため、出張や学校行事の計画が遅れてしまう。
- ノ 法律で決められている保健行事が実施できていないので年間行事に位置づけたらどうか。
- ハ SCやALT、司書や栄養教諭も年度始めに派遣計画を立てられないか。
- ヒ フェリー代も職員数も同じなのに、出張旅費の予算配分が違うので、平等にできないか。
- フ 給食費が各学校で違うようである。格差を解消できないか。
- ヘ 旅費がかかることだが事務職員や栄養教諭の先生にもう少し学校現場に来てほしい。
- ホ 台風時のタイムラインを設定してほしい。(台風時の動きや、やるべき事がわかりやすくなる)

(2) 学校の施設・設備に関すること

- ア 学校・集会室・倉庫を修理して欲しい。(片泊)
- イ 図書室にもエアコンを設置してもらいたい。(保健室の使用が少なく活用できていない)(片泊)
- ウ 洋式トイレに改修して欲しい。(学校行事等で地域の方々、特に高齢者が使いにくい)(片泊)
- エ 教職員住宅の改修が出来ないものか。
- オ 保健室のエアコン設置は健康管理のために、とてもよかった。
- カ 老朽化により使用できない遊具については事故等が発生する前に撤去・更新が必要と思います。
- キ 職員室等の照明設備の照度が不足していると感じました。1校ずつでも改善していくことは出来ないでしょうか。
- ク 教員住宅の老朽化に伴い年次的な改修が必要である。
- ケ 早急にトイレを和式から洋式へ改修してほしい。
- コ 校舎、体育館、教職員住宅など、いずれも老朽化してきています。子どもたちの安全全面も考慮し早急に対処願います。(体育館：窓ガラス破損、教員住宅：外壁の崩落)
- サ 老朽化が進む施設、設備の整備計画(5～10年)が示されると住民も安心すると思うので策定して欲しい。
- シ 災害被害への迅速な対応やクーラーの設置等、たいへんありがたかった。
- ス 学校の樹木が茂り、高さもたいへん高いことから、剪定や伐採が難しい。台風等での倒木等が心配される場所であり、現場を確認し現状を把握しての上で対応を検討していただきたい。
- セ エアコンの設置、発電機の整備は大変ありがたい。
- ソ グラウンドに水たまりができてやすいため、年に1回は整地作業をお願いできないか。(大里小中)
- タ 防護フェンスとして、校庭の周囲の必要な箇所にネットを張ってもらっているが、一部破損しており、整備をお願いしたい。(大里小中)
- チ 校舎裏敷地の排水が悪く、雨の多い時期は田んぼ状態になる。ぶとや蚊の発生原因になると考えられるため、整備をお願いしたい。(大里小中)
- ツ 給食室までの屋根が欲しい。雨の日は濡れてしまう。(大里小中)

テ コピー機の故障で、年2回修理にあげなければならない状態であった。修理のためのコピー機の搬送は簡単ではなく、その度不自由な思いをしている。現在のコピー機のリース期間は8年目になっており、今後の故障が心配である。離島での使用を考えると、リース期間が8年目であることは長すぎると思う。せめて5年スパンでコピー機を替えてもらえないか。(大里小中)

ト 教職員住宅の改善をお願いしたい。住宅の状態に対して、住宅費が高いと感じている。風呂や台所などの水回りは衛生面できれいにしておかなければならない箇所である。洗濯機の置き場に不自由している所もある。また、浴槽に浸かっている職員もいる。(大里小中)

ナ 学校校庭の土入れ整備を計画的に進めてほしい。(竹島小中)

ニ 学校にある和式トイレを一部、洋式トイレにリフォームして欲しい。(地域高齢者が使いづらい)(竹島小中)

ヌ 環境整備については迅速な対応をしていただき、かなり教育環境が充実した。

ネ 職員室へのエアコン設置に職員の感謝の声多数。仕事の意欲や効率化が図れた。

ノ コンテナによる廃棄物処理にも感謝の声多数。環境学習にも効果的だった。

ハ 自然災害に強い学校&防災教育の充実した学校づくり(片泊小中)

・風速50M級の台風でもびくともしない校舎・温室を整備できないか。

・被災時もライフラインが確保でき、通常の学校生活・給食が可能な学校が出来ないか(校内に自家発電、海水から真水プラント、1週間分の非常食備蓄など)

・南海トラフや硫黄島噴火を想定しての避難訓練や防災体制を確立できないか。

ヒ 補助金なしでも留学生が押し寄せる日本一の学習環境を誇る学校づくり(片泊小中)

・全教室冷暖房完備にできないか

・校内に児童生徒の休憩コーナー(給湯器や人間関係構築に役立つゲーム機の設置)を設置したらどうか。

・児童生徒一人一台のノートパソコン(タブレット端末)などICTを充実したらどうか。

・ネットによる大学や塾等と連携した通信教育を充実させたらどうか。

フ 障害者も共生できるバリアフリー構造の校舎、特別支援員を配置したらどうか。

ヘ 留学生が押し寄せる日本一遊べる学校づくり(片泊小中)

・ツリーハウスや秘密基地、ピザ釜やバーベキュー施設を設置したらどうか。

・カヌーやウエイクボードなどの施設や道具、教室を実施。また指導員を配置したらどうか。

・山羊と牛の飼育小屋の設置(山羊は除草、牛は農家と連携して)したらどうか。

(3) 生涯学習に関すること

ア 放課後子ども教室については各地区とも工夫を凝らしていて、この経験を活かし子どもたちが成長してくれることを期待します。

イ 今回、国の重文に指定された「薩摩硫黄島のメンドン」を含め、本村にある重要な文化資産については大事にしバックアップが出来れば良いのではないかと思います。

ウ 文化財については、もっと地区との連携を強化する必要がある。

エ 授業の中で自分の住んでいる地域の歴史を知るための時間を増やすことはできないものか。

オ 住民の中にも優れた技能を持った人材がいる。そうした人材を活用した公民館講座を開催してはどうか。

カ 住民の意見や興味関心のある事を聞いた上で講座を開設してはどうか（有名釣り具メーカーフィールドマスター釣り講座、島民全員写真家講座等）

キ PTA活動については、村のPTA連絡協議会が今後充実していくことで、学校との連携も深まり、PTA活動全体がより充実したものになると思う。

ク 放課後子ども教室は、学校職員のボランティアで活動を維持している状況である。専門的な講師の方を派遣していただき、体験や活動の幅を広げられればありがたい。

ケ 保護者、地域住民へ向けた人権教育の推進を図る必要がある。

コ ジオパークに関する地域住民向け講座を実施したらどうか。

サ 郷土を知り、郷土ガイドを育てる施策（教室）を開催したらどうか。

シ 公共施設及び文化財等の整備の充実、地域住民へ向けた人権教育の推進を図る必要がある。

ス 子どもたちや学校・地域のためのPTAから、生涯学習の場としてのPTAを目指して

(1) 連携の充実を図る。

ア 全Pや九P、県P（地区P）との「縦の連携」を図る。

イ 村P連絡協議会や三島・十島PTA連絡協議会の「横の連携」を図る。

※ 村PTA連絡協議会の事務局を4校で輪番制にし、縦と横の連携を図る。

事務局の実際のPTA活動を見学したり、情報交換をしたりする。

(2) 携帯安全教室やALD講習会を実施する。

※ 4校合同で、携帯安全教室やALD講習会を開催する。

（講師は見料無料、補助金が各単Pに出るので、収入になる。）

セ よそ者といっしょに継承する伝統文化、拡充するジオパーク

(1) 伝統文化の継承者が住民だけとなっている現状に対して、

ア 自費で来島し、面踊り等を踊ってみたいという島外者がたくさんいる。

1週間程度、島で生活しながら踊りを練習し、祭りで披露する。

ネット等で島外者を募集し、村文化祭で各地区の伝統芸能を発表し合う。

イ 子どもたちにも参加してもらい、しおかせ留学生につなげる。

(2) ジオパーク関連事業や定住促進のさらなる推進

ア よそ者の協力で、ダッシュ島のような「ジオ島」を作り、定住体験ができるようにする。

イ よそ者の協力で目玉になるイベントを開催する。（ドローンでジオ撮影大会等）

ウ 他にはない目玉になる観光やレジャー施設を作る。（ウォーターボール等）

(4) その他

ア 教員住宅の点検と修理をお願いしたい。

イ 評価するに当たって、各事業の実施後の担当者等のコメントや課題等、簡単な資料があると評価しやすいので今後検討いただきたい。

ウ 新規事業の提案として、予算をつけて各地区から1年間1事業を独自の発想で提案していただき事業を行う。合同で事業を行ってもいいし各地区ごとでも構わないというのはどうか。

エ 船便に合わせた行事が多いので、船舶課や役場との連携を密にし、早めに航海予定が決まることを望む。

オ ブロードバンド通信を活用したサテライト授業、出張寺子屋

- ・放課後に東進ハイスクールなど、有名講師による通信教育のための学校施設の提供
- ・鹿大の学生などによる出前講座（出張寺子屋）

カ しおかぜ留学生のネットワーク組織を設立する。節目の年の同窓会を開催する。

キ 鹿児島大学大学院教育学研究科との連携については、学校としてようやく内容が見えつつあるところであり、現時点で評価することは難しい。

ク しおかぜ留学については、里親の確保が前提であるが、誰もが里親となれるわけではない。様々な家庭環境や事情を抱えた子どもを理解しながら支えていくためには、それなりの経験が必要であり、留学生ハウスなどの受け入れ体制をしっかりと作っていくことが必須である。

ケ 留学生の受け入れ決定は、今年度と同様、段階的な流れ（希望→当初面接→現地見学→決定面接→決定→学校への転入）を踏んで慎重に進めているようお願いしたい。留学に対する本人・保護者のしっかりした目的がなければうまくいかないと思う。

コ 「ジオパーク事業」として、「各学校」との関わりについては、各学校の特色を生かした教育を推進したい。

サ 4小中学校の学校用務員の情報交換の場を設定できないか。（年1回でも）

シ 三島村の人口増のための魅力ある学校づくりのために以下のようなプラン（題して「GTOプラン2017」）を提案します。

【P1】 宿題やテストのない学校（でも、日本一学力が向上する学校、全教室冷暖房完備）

- ・「放課後塾」（学校で、有名塾のネット講義受講や大学生による集中講座、自習など）

【P2】 日本一遊べる学校

- ・海や山で遊ぶ（カヌーやウエイクボード、シュノーケル、トレイルランや昆虫採集など）
- ・離島セラピー（人がいない島は人嫌いに最適環境）、豊かな自然による癒やし体験
- ・新刊本や漫画などが毎月入る学校図書館（人嫌いでも本好きにはたまらない）

【P3】 将来国体やオリンピック出場の可能性を育てる学校

- ・ボルダリングや登山、ウエイクボード、トライアスロンなどの施設や強化指導完備

【P4】 日本一給食の美味しい学校

- ・少人数だからできる月1回のフルコース給食やバイキング給食など

【P5】 グローバルスクール（修学旅行は毎年、旅行先は外国）

【P6】 ノーマライゼーションスクール（障害者との共生を目指す学校）

【P7】 銀の匙学校（山羊や牛を飼育している学校、職場体験で牛農家体験できます）

【P8】 文化祭で柏木由紀（AKB）やC&Kのミニコンサートがある学校

【P9】 日本全国のジオパークと連携したジオキッズクラブのある学校

【P10】 放課後や週休日には総合型スポーツクラブで好きなスポーツのできる学校……